

2022年度 名古屋芸術大学 入学試験問題
総合型選抜「総合型選抜入学試験4期」

入試問題

試験科目：「小論文」

日 程：2022年3月23日(水)

試験時間：50分 / 解答字数：800字程度

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

対象コース： リベラルアーツコース

※音楽領域、舞台芸術領域、芸術教養領域、子ども学科で1種類の問題冊子となります。

[課題]

芸術教養領域の「入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)」をふまえたうえで、答えてください。

- (1) 画像1の絵画作品をよくみて、どのような状況、情景が描かれているか、200字程度で説明してください。作家名やタイトルについての言及を含めても構いません。
- (2) 画像1の絵画作品を鑑賞したときの、自分自身が受けた印象や感情、思考したことなどを、300字程度で説明してください。
- (3) 画像1の絵画作品を鑑賞するとき、あるいは説明する時に、自分がこれまで獲得してきた知識や経験がどのように影響を及ぼしていると思いましたか。これ以外の作品も含めた、一般的に作品を理解することと教養の関係性について300字程度で説明してください。

画像1



[出題の意図等] ※問題用紙には記載されません。

アドミッション・ポリシー (AP) と、総合型選抜という入試形態をふまえ、下の項目の関心の度合いや力をみるため。

AP：音楽、美術とデザイン、現代の多様な文化と社会に関心があり、自らの発想と知恵、感覚をいかし、地域と社会がかかえる課題を、協働して解決していく意欲のある人を求める。

<学んできたことの整理と分析 (自らの発想と知恵を活用できる基礎力) >

- これまでの学びを客観的に整理し、内容を活用できているか。
- 自分の分析や思考、発想について、これまでの学びや経験をふまえたうえで文章で整理し伝えることができているか。

<基本的な日本語運用力と思考の客観性>

- 問題文の意味を読み取れているか。
- 事実 (問題 1) と思考・感情 (問題 2) を区別しているか。
- 感想を交えず「概要」を客観的に記述できているか。問題の(1)と(2)の混同がないか。
- 客観的な事実 (問題 1) と思考・感情 (問題 2) をふまえて、自分の判断や思考を分析できているか (問題 3)。